交換用バッテリパック

BHB60PC/BHB100PC 取扱説明書

●BHB60PCは無停電電源装置 BH60PCW（バッテリユニット BHM60PC）専用の交換用バッテリパックです。
●BHB100PC は無停電電源装置 BH100PCW（バッテリユニット BHM100PC）専用の交換用バッテリパックです。

―目 次―

安全上のご注意

安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。設置やご使用開始の前に必ずお読みください。

●この取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。

危 険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注 意	誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットに係わる拡大損害を示します。

：禁止（してはいけないこと）を示します。例えば は分解禁止を意味しています。

：強制（必ずしなければならないこと）を示します。例えば はアースの接続が必要であることを意味します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。
いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 意（バッテリ交換時）

バッテリ接続コネクタ、増設バッテリ接続コネクタに金属物を挿入しないこと。
コネクタの端子間をショートしないこと。

● 感電する恐れがあります。
● 発火、電池の破裂、やけどの危険があります。

バッテリを金属物でショートさせないこと。

● 火傷をしたり、火災を起こすことがあります。
● 使用済みバッテリでも内部に電気エネルギーが残っています。

バッテリを火の中に投げ入れたり、破壊しないこと。

● バッテリが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。

⚠ 注 意（バッテリ交換時）

指定以外の交換バッテリは使用しないこと。

● 火災の原因となることがあります。

●バッテリパック商品型式：　**BHB60PC：バッテリユニットBHM60PC用（BH60PCW）**
BHB100PC：バッテリユニットBHM100PC用（BH100PCW）

新しいバッテリと古いバッテリを同時に使用しないこと。

● バッテリが早く劣化し、希硫酸が漏れたりすることがあります。

バッテリを落下させたり、強い衝撃を与えないこと。

● 希硫酸が漏れたりすることがあります。

可燃性ガスがある場所でバッテリ交換をしないこと。

●バッテリを接続する際、火花が飛び、火災の原因になる恐れがあります。

交換作業は安定した、平らな場所で行うこと。

●バッテリは落下しないよう両手でしっかりと保持してください。

●落下によるけが、液漏れ(酸)によるやけどなどの危険があります。

バッテリから液漏れがある場合は液にさわらないこと。

●液体（希硫酸）にさわると、やけどや失明をする恐れがあります。

バッテリの分解、改造をしないこと。

●希硫酸が漏れ、失明、やけどなどの恐れがあります。

◆お願い◆

この製品には、鉛バッテリ（鉛蓄電池）を使用しています。

● 鉛バッテリはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。

● リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡ください。

Pb

バッテリの保管（使用していない状態）可能期間は、完全充電状態から約6ヶ月です。

● バッテリは使用しなくても内部で自然放電し､長期間放置しますと過放電状態となり､バックアップ時間が短くなったり､使用できなくなることがあります。

● バッテリパック単品の場合ご購入後6ヶ月以内にご使用を開始してください。
無停電電源装置（UPS）ごと保管される場合は、保管前に12時間以上充電をし、保管中は電源スイッチを「切」にしてください。保管期間が6ヶ月を超える場合､超える前に無停電電源装置（UPS）を12時間以上商用コンセントに接続し､バッテリの再充電を行ってください。

● 以後6ヶ月ごとに再充電を行ってください。

1．梱包内容の確認

内容物がすべて揃っているか、外観に損傷はないか確認してください。
万一、不良品その他お気づきの点がございましたら、すぐに販売店へご連絡ください。

- バッテリパック（BHB60PC あるいは BHB100PC）.......................2 個
  1 台のバッテリユニットに BHB60PC あるいは BHB100PC が 2 個必要です。
- 取扱説明書 ....1 冊

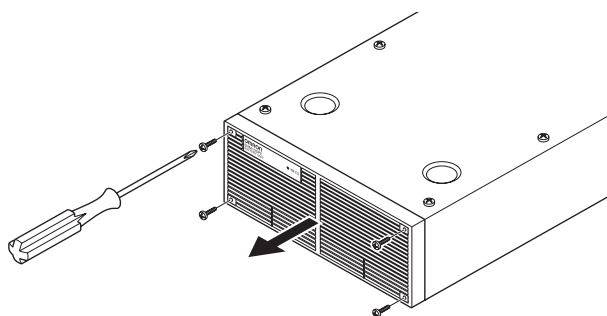
2．バッテリの交換

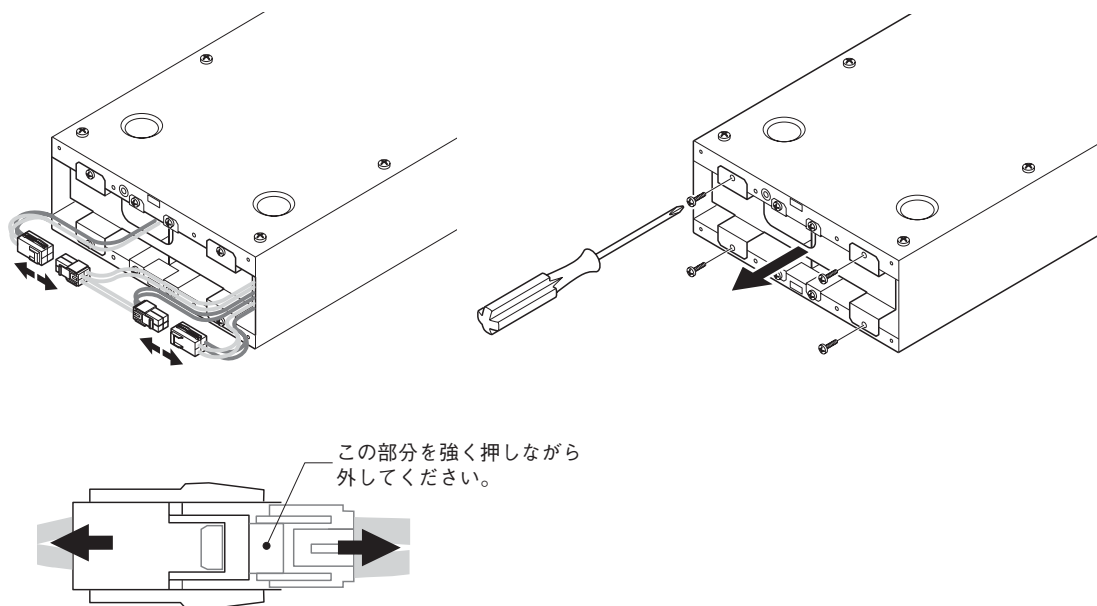
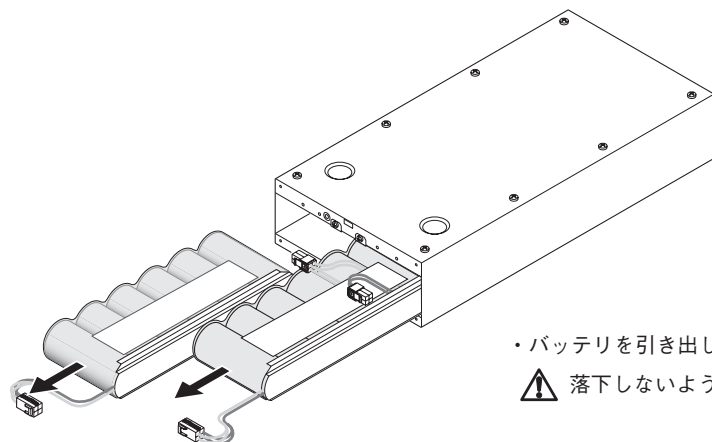
無停電電源装置が運転停止（電源出力停止）状態や、運転中（電源出力中）のどちらでもバッテリの交換ができます。

※ 停止状態で交換される場合は、接続機器を停止し、本機の「電源出力」スイッチを切り、「AC 入力」プラグを電源コンセントから抜いてください。
※ 運転状態でのバッテリ交換中に停電などの入力電源異常が発生した場合、バックアップできず出力が停止します。
※ バックアップ運転中にバッテリ交換をしないでください。出力が停止します。

● この製品には、鉛バッテリ（鉛蓄電池）を使用しています。
鉛バッテリはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。
リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡ください。

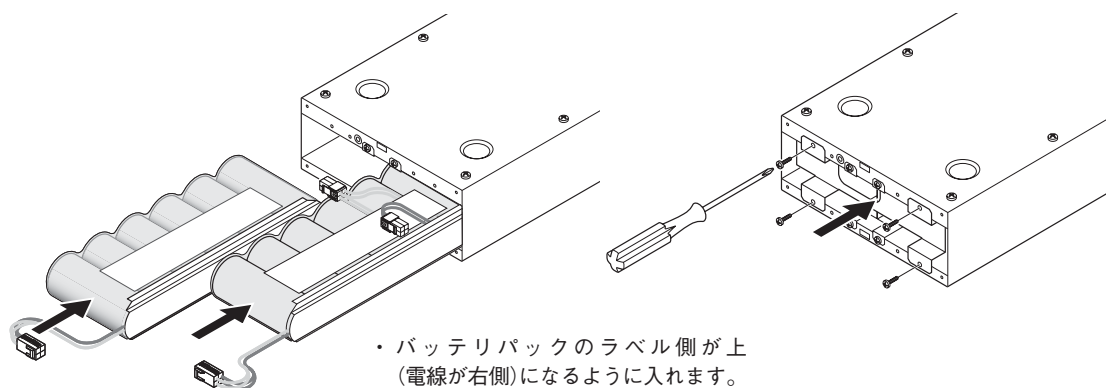
●バッテリ交換

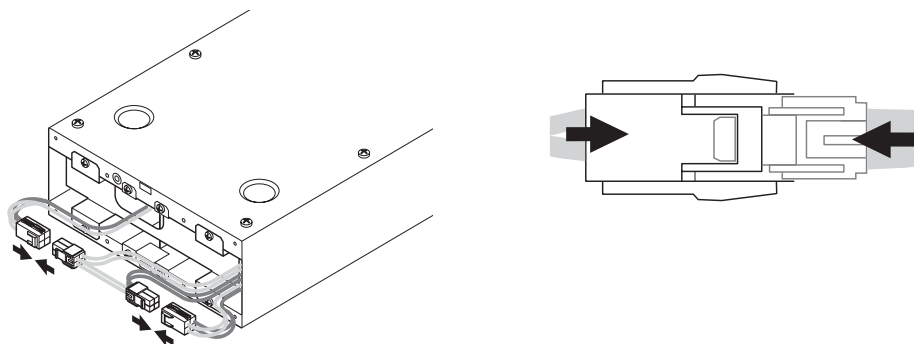
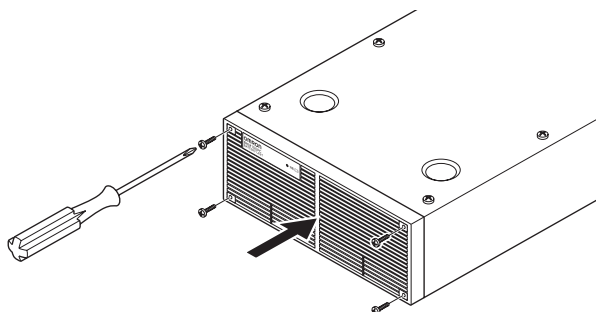
(1) 前面のネジ 4 個をドライバではずし、フロントパネルを取り外す。

取り外したネジをなくさないようにご注意ください。

(2) バッテリのコネクタ２個を抜き、ネジ４個を外し固定金具を取り外す。

(3) バッテリを取り出す。

・バッテリを引き出し、バッテリ本体を保持して取り出す。

⚠ 落下しないようにご注意ください。

(4) 新しいバッテリを入れ、固定金具を取り付ける。

・バッテリパックのラベル側が上（電線が右側）になるように入れます。

(5) コネクタを接続する

・コネクタのロックが勘合するまで差し込んでください。

(6) フロントパネルを取り付ける

<運転状態のまま交換した後は・・・>

「ブザー停止／テスト」スイッチを10秒以上押し、自己診断テストを実施してください。約10秒のテスト後に正常運転に戻ります。ブザー音が鳴っている場合は、1回目にスイッチを押すとブザー音が停止します。次にもう一回スイッチを押すと「テスト」をスタートします。
交換前に「バッテリ交換」表示ランプが点滅し、ブザー鳴動していた場合は、テスト完了後に表示ランプが消灯・ブザーが停止し正常運転に戻ります。

<運転を停止して交換した後は・・・>

「AC入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に接続し、無停電電源装置（UPS）の「電源出力」スイッチを入れてください。運転開始時、自動的に自己診断テストを実施します。約10秒のテスト後に正常運転に戻ります。充電状態によっては、自己診断テストをしない場合もありますが、運転に支障ありません。

無停電電源装置（UPS）に添付の自動シャットダウンソフトをご使用いただければ、本ソフトにて使用開始時期を管理いただけます。

◆お願い◆

この製品には、鉛バッテリ（鉛蓄電池）を使用しています。

- 鉛バッテリはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。
- リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡ください。

お問い合わせ先
電子機器カスタマサポートセンタ　TEL 0120-77-4741　FAX 03-3436-7059
電子機器ホームページ　http:www.omron.co.jp/ped-j/

オムロン株式会社

K1L-D-06013F